



株式会社
活きがい発電所
作業療法士
有村 正弘



有限会社東康夫養鶏場
専務取締役
東 晃史

珠玉の一言

死ぬこと以外はかすり傷

東晃史さんは父親の影響で10年ほど前からこの仕事を始めたそう。この仕事の番のやりがいは、生産した卵をお客様に食べてもらうことで、喜ばれたり、ありがとうと感謝されたりすることだと話す。もちろんいいことばかりではなく、苦労も多い。例えば、鶏のフンの処理だ。会社でフンを発酵し肥料として農家に販売するそう。もし農家の方々が買い取ってくれないならば、フンの行き先なんてなく、出費がかさむ一方である。鶏の管理や感染症予防もまた苦労の一部である。

東さんの出身は、えびの市だ。もともとは仕事を継ぐつもりはまったくなくてよいほどなく、東京や福岡で全く別の仕事をしてきた。だが、父親の高齢化に伴い、父が今まで頑張ってきたものを自分が継がなければ廃業となってしまう、という思いから養鶏場を継ぐことを決めたそう。

東さんは「仕事というものはどうせ絶対失敗する、失敗したからって死ぬわけじゃない、失敗するなら恐れずにガンガンしたほうが良い」と話す。私達も今回の話を聞いて、失敗を恐れずに前に突き進む勇氣をもらった。

珠玉の一言

コロナが動けばカラダも動く！

活きがい発電所は市内に3つの介護事業所を運営し、その代表者が有村正弘さんである。

有村さんは平成5年に作業療法士の資格を取得後、北九州市で6年修業しえびの市へ帰郷。帰郷後14年間はさくら苑でリハビリの仕事に従事。「利用者をもっと元気になる施設を作りたい」と平成25年に独立し「活きがい発電所えびの」を開業された。その対象は脳卒中や骨折、高齢等により、生活障害を患われた方であるが、「その方達がこの世に死にリハビリを行って、出来なかったことが出来るようになったり、再び社会へ参加したり、例えば障害が残ったとしても、再び、自分を活

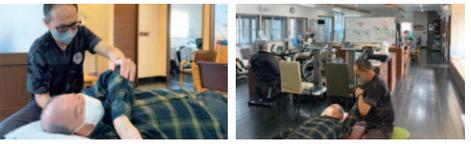
起業から11年が経ち、寝たきりだった方が一人で歩けるようになったり、買い物などにも行けなくなっていた高齢の方が歩いて買い物に行けるようになったり、若い方では職場復帰するなど、多くの結果を残してこられた。

平成30年には飯野駅前二号店「活きがい発電所えびの短時間道場」を開業。ここはジムなどのような器械も多く、比較的軽度の方が介護予防や認知症予防に努める施設であり、一号店で元気になられた方が次に目指すステップとする施設にもなっているとのこと。

会社概要

作業療法士夫婦の30年以上の経験と技能を基に運営する「自立支援」を応援する事業所です。高齢者や障がい者の方が在宅で自立した生活を送るために必要な支援を共感してくれたスタッフと共に、介護の現場で実践しています。

代表者／代表取締役 有村 正弘
設立／平成25年
資本金／100万円
サービス活きがい発電所えびの市大字大明司50-7
従業員／15名(うちえびの市民14名)
HP／https://www.ot-road.co.jp



- 〈事業所〉
- デイサービス活きがい発電所えびの(大明司50-7)
 - 活きがい発電所(原田2734-90)
 - ケアプラン活きがい発電所(原田2734-90)

TEL.0984-48-0808 FAX.0984-48-0900

会社概要

「あなたの健康を守りたい！」そのような気持ちで、創業以来真心をこめて、本当に安全で安心できる卵の生産に取り組んでいます。現在、九州・沖縄をはじめ、関東や関西のスーパーへ鶏卵の販売・卸しを致しております。

代表者／代表取締役 東 慶良
設立／昭和47年5月
本社所在地／宮崎県えびの市大字坂元1640
従業員／16名
Mail／koran.egg.shop@gmail.com
HP／https://koran-egg.com



TEL.0984-33-0323